

トラックの荷台から鋼材を下ろす作業中

約2トンの鋼材ぶつかる 作業員2人が死亡

～鋼材(鉄板)の積み下ろし作業時は～

◇吊り下に入らない、逃げ場の確認◇

◇手足の挟まれ労災事故にも注意◇

2016年3月29日 10時52分

29日午前8時30分ごろ、秋田県の自動車部品の製造工場で、作業員が鋼材にぶつかったと警察などに通報がありました。

警察の調べによりますと、トラックの荷台から鋼材を下ろす作業をしていた、いずれも50代の男性作業員2人に、重さがおおよそ2トンの鋼材がぶつかったということです。2人はまもなく死亡が確認されました。

事故当時、トラックの近くでは3人が作業をしていて、1人がクレーンを操作して鋼材をつり上げ、死亡した2人は近くで誘導していたということです。

警察は2人の身元の確認を進めるとともに、近くにいた作業員から話を聴くなどして事故の状況を調べています。